



寿楽荘だより

発行：社会福祉法人 双葉会
介護老人福祉施設 寿楽荘
編集：広報委員会

〒198-0213 東京都西多摩郡奥多摩町海澤497
TEL 0428-83-2338 FAX 0428-83-3705
URL <http://www.j.futabakai.or.jp>
e-mail gyurakusou@futabakai.or.jp

第72号



平成三十一年度 事業計画・予算

介護人材不足の深刻化

双葉会業務執行理事
寿楽荘施設長 奥平周二一

2月に行われた東京都高齢者福祉施設協議会総会の席において、東京都における介護職の有効求人倍率が9倍を超えたとの報告がなされました。全国的には昨年9月時点で4.16倍との事であり、2025年には35万人程度の介護人材が足りなくなるとのことです。既に青梅ブロック内（青梅市、羽村市、瑞穂町、奥多摩町）の施設においても介護職員不足により定員の利用者数を受け入れることのできない施設が始めています。

介護職が敬遠される大きな原因に挙げられるのが、低賃金です。しかし、当法人・施設は創設者の「高齢者のお世話をするには低賃金では、よい処遇はできない。」との考えから他施設より高い賃金体系となつていますが、それでも、国・都基準を下回る事にはならないものの退職者の欠員を確保できない慢性的な人材不足が続いています。

その対策として、国・マイリピン人介護福祉士候補生2名の受入れを寿楽荘で昨年12月に、今年度はインドネシア人の技術実習生6～8名の受入れを寿楽荘、琴清苑で検討しています。さらには、新たな特定技術実習生の受入れ、ベトナムの大学・短期大学生のインターンシップ制度の導入等も視野に入れていくところです。その一方で福祉系専門学校・大学等で学ぶ地域の学生への助成等も考えていく必要性を感じているところですが、財政難もあり、前途多難であることが予想されます。

このように、福祉施設における将来の労働力不足は深刻な問題であり、安定した運営を脅かすものです。どうか皆様方にも、より一層のご指導、ご助言の程宜しくお願い致します。

社会福祉法人双葉会事業計画

◎基本方針

今年度は改正社会福祉法の柱である、1.経営組織のガバナンスの強化、2.事業運営の透明性の向上、3.財務規律の強化、4.地域における公益的な取組、について現在の社会福祉法人に求められている形を具現化すべく、全役・職員が一丸となって推進して行きます。

琴清苑全面改築事業については、協議書、計画書、東京都との2回のヒアリングを終え内示を待つ段階にきていますが、計画の柱となる「全従来型個室96名定員、中規模防災拠点型地域交流スペースを備えた施設」の整備に変更はなく、施設の創立当初からの奥多摩町民並びに社会的弱者の皆さまに優先して利用いただけるよう準備を進めてまいります。

さらには、深刻的な介護職員の人材難、待機者の激減等々と課題は山積していますが、より良い福祉サービスの提供、町内居住者の雇用の確保、新卒者を含めた若年層の専門職育成、EPA介護福祉士候補生・外国人介護技能実習生の受入れ、育成に努めていきます。



寿楽荘事業計画

◎基本方針

働き手の確保は極めて深刻と言わざるを得ない状況であり、利用者サービスとは別に厳しい運営となっている。定年延長や再雇用は介護職員では体力的な限界もあるうえ、働き手の希望が自身の体調を崩さない範囲となる場合、将来を見据えた若年層の雇用促進は最重要課題であり、新規採用に関しては、将来性ややり甲斐のある職種であること以外にも、収入面や年間休暇日数をセールスポイントとして雇用に繋げられればと考える。その様ななかで新たな働き手確保の方策として、外国人労働力をより重要視していく。昨年度より行っているEPA介護福祉士候補生受入れのほか、“技能実習制度”や“特定技能・介護”による労働力確保を法人全体として推進していく。

入所者に関しては平均要介護度が4.2を超え、各職種とも昨年以上に細やかなサービス提供に取り組む必要がある。限られた人員でのサービス提供となるので、効率性も考慮した日常業務の遂行により、利用者・家族に誤解を生まないサービス提供に努める。このような状況でも、寿楽荘は各職員が最大限の力を発揮し連携をとることで、50年間受け継がれてきた「愛情、人の和、信頼関係の中での慈悲（慈＝他に楽を与える、悲＝他の苦を除く）を理想に利用者自体が主体となって生活をエンジョイできる施設」を目指します。



資金収支計算書(当初予算)	
勘定科目	寿楽荘会計
事業活動収入計(1)	843,003,000
事業活動支出計(2)	816,195,000
事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2)	26,808,000
施設整備等収入計(4)	0
施設整備等収支計(5)	48,829,000
施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)	-48,829,000
その他の活動による収入計(7)	23,916,000
その他の活動による収支計(8)	1,500,000
その他の活動資金収支差額(9)=(7)-(8)	22,416,000
予備費支出(10)	395,000
当期資金収支差額合計(11)=(3)+(6)+(9)-(10)	0
前期末支払資金残高(12)	373,310,178
当期末支払資金残高(11)+(12)	373,310,178

リハビリ室より

ボランティアの皆様いつもありがとうございます！

寿楽荘には毎月たくさんのボランティアの皆様が来荘して下さいています。今回は将棋愛好会の皆様と習字・絵手紙ボランティアの新條先生をご紹介します。



『将棋愛好会の皆様』
白熱した対局で盛り上がることも多く、毎回楽しみにしている利用者の方も沢山います。初心者の方にも丁寧に教えて下さり、とても楽しいひと時です。

『習字・絵手紙ボランティア新條菊枝先生』
新聞のカラーページを加工した絵手紙素材の可愛らしさに利用者の皆様も笑顔になります。新條先生の優しいお人柄と出来上がった作品に気持ちのほっこりするひと時です。



これからも、どうぞよろしくお願い致します。



日常生活行事活動状況



1月12日 『新春カルタ大会』



1月5日 『羽黒三田神社稚子振興会』による施設訪問
施設職員もお面を被って踊り、楽しい一時を過ごすことが出来ました。



2月3日 『豆まき』
職員が鬼に変装して施設内を回り「鬼は外！福は内！」と豆まきを楽しんでいました。



3月13日 『家族交流カラオケ大会』



本広報誌に記載しております、お名前・写真につきましてはご本人、若しくはご家族、各団体等より承諾を頂いた上で掲載しております。

『インドネシア技能実習生現地合同面接会』

2019年3月21日から24日の日程で、現地送出し機関である2つの日本語学校、SBC（認可申請中）、KSSを日本の監理団体である日本国際経済交流協同組合（JIEECS・ジークス）および、JIEECSを紹介して頂いた株式会社ランダルコーポレーションの方々と訪問し、現地での合同面接会を実施してきました。

合同面接会には双葉会の寿楽荘・琴清苑の2施設、東京多摩学園、杉並区の老健ウェルファー、川越市の特養アイリスの5施設が参加しました。

現地時間3月22日の午前中にSBC、午後にKSSで合同面接会を実施し、その後各施設内で採用候補生の絞り込みをし、採用候補生を決定し提出。選定協議のうえ、各施設の採用予定者を最終決定しました。

双葉会では、当初寿楽荘3名、琴清苑3名の女性6名を採用する予定でしたが、候補生の日本語スキルの高さ、仕事に対しての意欲、高い向上心が感じ取られ、急遽採用者を2名増やし、寿楽荘4名、琴清苑4名の計8名の女性を採用することとしました。（今回の合同面接会では他の施設をあわせると、男性4名、女性14名の計18名が採用予定者となりました。）

今後は2019年10月1日の入国スケジュールで、監理組合および送出し機関と調整していきます。

受け入れる我々も、実習生指導計画、提供する宿舍の整備、職員に対しての外国人技能実習制度およびインドネシアという国の理解を深めるための講習、町への周知および協力等の準備を行っていきます。

なお、インドネシアはイスラム教の国です。イスラム教徒の女性は人前で頭髪を隠す習慣があり、ヒジャブという頭髪を覆い隠すためのスカーフのような布を着用します。現在は信仰の強さにより、着用しない女性も増えているようです。今回の採用予定者8名のうち4名がヒジャブ着用となっております。その他にもお祈りの時間、豚肉禁止等の習慣があります。

宗教や習慣に関してのご理解・ご協力を何卒お願い申し上げます。



お詫び

インフルエンザの発症により2/3から2/28まで面会制限の措置をとらせて頂きました。ご心配、ご迷惑をおかけしたことを心よりお詫び申し上げます。

長期にわたる面会制限の中、ご家族の皆様には全面的なご協力を賜りましたこと改めて御礼申し上げます。

◇編集後記◇

「平成最後」、 「平成最後」色々なことで耳にした昨年度。盛り上がりつつ、ひとつの時代が終わり、ついに来月より新元号。心機一転、清々しく迎えたいものです。

池

今後の行事予定

- 4月
 - ・花祭り(降誕会)
 - ・花見・新緑ハイク
 - ・外食会
 - ・ドッグセラピー
 - ・ピューティーセラピー
- 5月
 - ・喫茶会
 - ・マス釣り
 - ・外食会
 - ・ドッグセラピー
- 6月
 - ・喫茶会
 - ・夏物衣料品訪問販売
 - ・外食会
 - ・ドッグセラピー
 - ・ピューティーセラピー
 - ・喫茶会

